

動物実験に関する現況調査票

東京理科大学

2026 年 7 月

I. 動物実験に関する組織

機関長	職名：学長 氏名：石川 正俊		
事務担当者	職名：管財部 葛飾管財課 環境安全管理室 係長 氏名：菊地 利一		
同 連絡先	TEL: 03-5876-1581	FAX: 03-5876-1627	e-mail: bio-kankyou@admin.tus.ac.jp
動物実験委員会	職 名	氏 名	要件*
委員長	薬 学 部 薬 学 科 教授	磯濱 洋一郎	①
委 員	理学部第一部応用化学科 教授	鳥越 秀峰	①
委 員	薬 学 部 薬 学 科 教授	斎藤 顕宜	②
委 員	教養教育研究院野田キャンパス教養部 教授	鈴木 智順	③
委 員	創域理工学部生命生物科学科 教授	前澤 創	①
委 員	先進工学部生命システム工学科 教授	瀬木(西田) 恵里	①
委 員	生命医科学研究所 准教授	昆 俊亮	①
委 員	生命医科学研究所 講師	小川 修平	②
委 員	日 本 医 科 大 学 助教	丸山 基世	②

(2026 年 3 月 31 日 現在)

委員の数に応じて、表の行を増やしてください。

動物実験委員会の要件欄*には基本指針で規定する以下の委員構成の要件番号を記入して下さい。

該当がない場合には空欄にしておいてください。

- ① 動物実験等に関して優れた識見を有する者
 ② 実験動物に関して優れた識見を有する者
 ③ その他、学識経験を有する者

II. 機関における動物実験の概要

1. 動物実験を行う主たる研究分野

- ☒ 医歯薬学分野 ☐ 畜産・獣医学分野
☒ 生物科学分野 ☒ 理工学分野
☐ その他 ()

2. 年度ごとに使用・飼養した実験動物の種類と概数

動物種	2025 年度		2024 年度		2023 年度		2022 年度		2021 年度	
	使用数	飼養数	使用数	飼養数	使用数	飼養数	使用数	飼養数	使用数	飼養数
ラット	1,103	43	1,913	3	1,678	152	1,454	109	1,192	80
マウス	60,479	14,761	59,786	8,856	46,291	10,775	52,447	11,638	66,268	13,192
モルモット	18	8	25	0	135	8	140	38	144	8
ハムスター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2026 年 3 月 31 日 現在)

実施の規模を把握するための資料ですので、使用数、飼養数ともに概数で構いません。

飼養数は、特定の日（ 年 月 日 現在）で記入ください。

集計困難であれば、未集計として下さい。

動物種の数に応じて、表の行を増やしてください。

3. 年度内に実施承認されている動物実験計画数及び当該年度に承認された動物実験計画数
(事務局にて作成済)

	2025 年度	2024 年度	2023 年度	2022 年度	2021 年度
動物実験計画数	120 件 (34 件)	133 件 (11 件)	105 件 (28 件)	97 件 (97 件)	108 件 (108 件)

(2026 年 3 月 31 日 現在)

※2022 年度より単年度申請から複数年度申請を開始。

当該年度に実施が承認されている動物実験計画数を記入してください。() 内は当該年度に学長承認された動物実験計画数を記入してください。

4. 年度ごとの動物実験に関する教育訓練の受講者数*
(事務局にて作成済)

	2025 年度	2024 年度	2023 年度	2022 年度	2021 年度
教育訓練受講者数	637 人	872 人	617 人	639 人	574 人

*実験動物を用いた実習等のために、学生に対して行った教育訓練の受講者数も含めて記入してください。

5. 実験動物飼養保管施設(施設)の現況

施設を持つ部局数： 3 部局	施設の総延べ床面積**：
施設の総数： 3 箇所	☐ なし ☐ 100 m ² 未満
	☐ 100 以上 300 m ² 未満 ☒ 300 m ² 以上

** いずれかにチェックを入れてください。

施設の名称	管理者の職・氏名	実験動物管理者の職・氏名 (関連資格・経験年数)	動物種	最大飼養 頭数(概数)
葛飾共創棟 動物実験施設 Laboratory Animal Center	教授 斎藤 顕宜	教授 斎藤 顕宜 (関連資格：なし) (経験年数：30 年)	マウス	15,174
			ラット	300
			モルモット	48
野田共同 動物実験施設	教授 前澤 創	准教授 萩原 明 (関連資格：なし) (経験年数：25 年)	マウス	5,455
			ラット	142
			モルモット	24
			ハムスター	24
			ウサギ	24
生命医科学研究所 動物実験施設	准教授 昆 俊亮	講師 小川 修平 (関連資格：実験動物 1 級 技術者) (経験年数：30 年)	マウス	15,000
			ラット	20

(2026 年 3 月 31 日 現在)

数に応じて、表の行を増やしてください。

施設の所在地

所在地	施設の名称
葛飾キャンパス	
東京都葛飾区新宿 6-3-1	葛飾共創棟動物実験施設 Laboratory Animal Center
野田キャンパス	
千葉県野田市山崎 2641	野田共同動物実験施設
千葉県野田市山崎 2641	生命医科学研究所動物実験施設

数に応じて、表の行を増やしてください。

飼養保管施設のあるキャンパスの主な所在地を記入ください。

飼養保管施設は、管理者及び実験動物管理者による一体化した管理体制の下で、実験動物の飼養及び保管等を行う施設であり、一般的には動物飼育室の他、器具洗浄等の管理区域、実験処置室等を含みます。したがって、個々の動物飼育室を指すものではありませんが、全ての動物飼育室は、実験動物飼養保管施設に所属していなければなりません。一体化した管理体制による実験動物飼養保管施設であれば、同一敷地内の異なる場所にある動物飼育室を含むこともあり得ます。なお、哺乳類、鳥類、爬虫類以外の動物の飼養保管施設はこの場合の数に含みません。

6. 動物実験に関する情報公開

当該情報の公開場所 (URL) :

https://www.rs.kagu.tus.ac.jp/env_pres/animal/animal_index.html

7. 国立大学法人動物実験施設協議会又は公私立大学実験動物施設協議会入会の有無

☐ 国立大学法人動物実験施設協議会会員☒ 公私立大学実験動物施設協議会会員 (会員番号 : 020)☐ その他(上記の会員ではない)

8. 自己点検・評価報告書の作成に際して自己点検・評価事項チェック票での確認

URL : <http://www.m-kenshou.org/>☒ 行った

9. 特記事項

(動物実験に関連した、機関の特徴や特殊事情)

本学には、II-5 に記載した葛飾共創棟動物実験施設 Laboratory Animal Center、野田共同動物実験施設、生命医科学研究所動物実験施設という 3 つの実験動物飼養保管施設が存在する。動物実験施設は、施設ごとの使用規則を定め施設管理責任者 (動物実験委員会委員) と動物実験運営委員会を置き、動物飼育等に関するものの他、動物実験の実施状況を把握し、実験実施者に適切な指導・助言を行っている。

動物実験計画を審査する動物実験委員会は、全学統一の委員会として設置・運営されている。また、動物実験に対する適切な体制を整える為に「動物実験の外部検証プログラム」を 2013(平成 25)年及び 2020(令和 2)年に受審している。

2013(平成 25)年度に葛飾キャンパスが開設されたことに伴い、2015(平成 27)年度に葛飾キャンパス動物実験施設を設置したが、2025(令和 7 年)年度の薬学部葛飾キャンパス移転に伴い、同施設を廃止し、葛飾共創棟動物実験施設 Laboratory Animal Center を新たに開設した。野田キャンパスにある野田共同動物実験施設は創域理工学部・総合研究院、生命医科学研究所動物実験施設は生命医科学研究所、葛飾共創棟動物実験施設 Laboratory Animal Center は薬学部・先進工学部の教員・学生が主に利用する等、各施設の主たる利用者の所属する学部等が異なる。

葛飾共創棟動物実験施設 Laboratory Animal Center は主に薬学部内で使用する動物 (但し RI 投与動物等は生命医科学研究所動物実験施設で使用) を飼育している。動物種はマウス、ラット、モルモットが飼育可能である。また、飼育環境としてコンベンショナルと SPF を選択でき、施設内に小規模な実験室も設けてある。野田共同動物実験施設は、できるだけ多くの動物種の飼育を可能としている一方、生命医科学研究所動物実験施設はマウスの SPF 環境下での飼育に特化している。